

問1 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 2. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 3. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 4. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 |
|--|--|---|---|

問2 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 | 4. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 |
|---|---|--|---|

問3 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった | 2. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された | 3. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった | 4. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問4 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 古墳 | 2. 高床倉庫 | 3. 環濠集落 | 4. 貝塚 |
|-------|---------|---------|-------|

問5 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1. 青銅器 | 2. 打製石器 | 3. 磨製石器 | 4. 鉄器 |
|--------|---------|---------|-------|

問6 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。 | 2. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。 | 3. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。 | 4. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。 |
|--|---|--|---|

問7 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。 | 2. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。 | 3. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。 | 4. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。 |
|---|--|--|--|

問8 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 2. 食物の豊穰や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 3. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 | 4. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 |
|--|--|---|--|

問9 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットウシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|----------|---------|
| 1. 渡来人 | 2. 大和民族 | 3. アイヌ民族 | 4. 琉球民族 |
|--------|---------|----------|---------|

問10 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった | 2. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった | 3. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した | 4. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった |
|---|--|--|---|

問11 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須恵器 | 2. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪 | 3. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器 | 4. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|

問12 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。 | 2. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。 | 3. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。 | 4. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。 |
|--|--|---|--|

問13 縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|----------|---------|
| 1. 貝塚 | 2. 古墳 | 3. 高地性集落 | 4. 環濠集落 |
|-------|-------|----------|---------|